

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	1130	スポーツ活動振興事業	会計	01	一般会計
基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育費
			項	06	保健体育費
			目	01	保健体育総務費
担当部課名	教育委員会 大山田分室			細目	102
作成者氏名	山本正彦	連絡先	46-0130	細々目	01
					スポーツ活動振興事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	行事に参加した市民	参加者がスポーツ活動を通じて健康保持増進をはかる。参加者がニュースポーツを体験することで継続的な活動が喚起される。				
本年度事業内容	おおやまだスポーツフェスティバル (フロアーカーリング、ターゲットバードゴルフ、ディスクゴルフ、スポーツ玉入れ、ペタンク、他)					
	元日マラソン					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1	1	1
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,299	1,411	1,411
	委託料	1,299	1,411	1,411
	その他			
	合計(A+B)	8,499	8,611	8,611
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	8,499	8,611	8,611
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
おおやまだスポーツフェスティバル	人	1050	1100	1100			
元日マラソン	人	511	550	550			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
おおやまだスポーツフェスティバル等行事の参加者数(マラソンなども含む)	スポーツフェスティバルに参加する人数の増が生涯スポーツの取り組みに対する指標となる。	人	1050 目標 ()	1100	1100
		人	目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

スポーツフェスティバルの参加者は、毎年1,000人台で推移しており、また、元日マラソンも500人台で推移しており定着していることから、誰もがスポーツに親しみと関心を持つ。

評価	必要性	4	親睦と交流を深め、心身の発達と生涯スポーツの振興に寄与している	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		